

ごあいさつ

山梨県マンドリン音楽連盟

会長 堀口 昭



本日はお忙しいところ、お越しいただき誠にありがとうございます。

ここに「第6回山梨県マンドリンフェスティバル」を開催できますことは、私達にとってこのうえない喜びであり、ひとえに皆様方のご理解とご支援の賜物と深く感謝しております。

県内マンドリン音楽愛好家の長年の願望でありました「山梨県マンドリン音楽連盟」が発足してはや19年になります。この間、1999年2月に念願の「マンドリンフェスティバル」を130人を超す大編成で行い、続いて同年11月には、1948年に発足した「県芸術祭」に代わる「県民文化祭」の幕開け事業として、コンラート・ヴェルキの「序曲ニ長調」をオーケストラ編成で演奏しました。尊い歴史を思うとまさに感無量でした。また、2007年開催の「北の杜こぶちざわ音楽祭」では「池辺晋一郎・愉快的音楽祭」に参加し、日本を代表する作曲家池辺先生のユーモア溢れる人柄と独特の指揮に心を打たれつつ、感動的なステージを経験させていただきました。

連盟所属の各クラブでは定期演奏会や地区の文化祭といった定例行事のほか、県の要請による「芸術劇場」、学校や施設への「講師派遣事業」や「音楽鑑賞会」等の機会を得て、多くの方々にマンドリン音楽の魅力を広めています。

本日は各団体の持ち味を活かした作品、また前回にもゲスト出演していただいたテレビCMでも活躍中の「マリオネット」のステージ、最後は80人編成による合同演奏で迫力あるサウンドをお楽しみください。

最後に、フェスティバル開催にあたり、関係機関ならびにご協賛頂きました皆様に厚く御礼申し上げるとともに、本日出演のご家族ご友人の皆様に変らぬご理解ご協力をいただきますよう、併せてお願い申し上げます。

第6回山梨県マンドリンフェスティバル

実行委員長 今村 辰夫

山梨県マンドリンフェスティバルも6回目となりました。

昨年夏に実行委員会を立ち上げ、どのようにしたら皆様に楽しんで頂ける演奏会づくりができるか検討してまいりました。

連盟参加団体の発表の場として、また、マンドリン音楽の素晴らしさを最大限引き出せるよう、前回、2013年のフェスティバルに大好評をいただきました、ポルトガルギターとマンドリンのユニット「マリオネット」のお二人に今回もご協力をいただき、I部、II部、III部ともそれぞれ味わいのある魅力溢れるステージとなっております。

特に、参加6団体が集う合同ステージでは、昨年9月からの練習に加え、各パート別の自主練習などを通して、連盟の目的の一つである会員相互の技術の向上が図られ、各団体のこれからの活動に役立っていくものと思います。

今回のフェスティバルが、マンドリン音楽の楽しさを再認識する絶好の機会となるとともに、マンドリン音楽を通じて会員同士の交流がなおいっそう深まれば幸いです。

本日の演奏会を通して、奏でる人、耳を傾ける人、会場の全員の皆様がマンドリン音楽の楽しさを感じていただきたいと思います。

